資料5-3-3

議題1

八千代市子ども・子育て支援に関する
アンケート(ニーズ調査)の結果について

1 調査の目的

- 〇現行の第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画が 令和6年度に期間満了となるため、令和7年度を始期と する次期計画を策定する。
- 〇次期計画の策定に向け、<u>今後の子育て世帯のニーズや</u> 意識を把握する必要がある。



次期計画の策定に当たっての基礎資料とするため、 アンケート調査を実施

2 調査の概要

調査対象者	調査対象数	抽出方法
就学前児童の保護者	2,500件	住民基本台帳から抽出
(就学前児童:0歳~年長)	(児童 10,417人中)	(令和5年11月末時点)
就学児童の保護者	1,500件	住民基本台帳から抽出
(就学児童:小学1年生~4年生)	(児童 6,972人中)	(令和5年11月末時点)

<調査期間> 令和6年1月9日(金)~1月31日(水)

<調査方法> Web調査

3 回収結果

調査対象者	標本数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	2,493件	1, 712件	68.7% (前回:66.4%)
就学児童の保護者	1, 499件	1,060件	70.7% (前回:65.7%)

前回調査の有効回収率を上回る結果となった。

① 母親の就労状況

- ○フルタイムの就労者が増加しています。 (前回) 21.3% → (R5) 28.2%
- 〇現在, 就労していない人のうち, 約85%(前回: 約70%)が就労を希望しています。
- 〇そのうち、就労開始時期は、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったころ」の割合が最も高く、57.6%(前回:47.4%)となっています。

② 幼稚園や保育園等の利用希望

区分	前回	R5
保育園(小規模保育事業所も含む)	32.0%	43.0%
幼稚園	36.6%	22.7%
幼稚園の預かり保育(就労している人)	3.6%	8.4%
幼稚園の預かり保育(就労していない人)	5.9%	6.0%
認定こども園(保育園部分)	6.8%	8.4%
認定こども園(幼稚園部分)	5.4%	5.5%

③ 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

- 〇利用している割合が減少しています。 (前回) 21.6% → (R5) 13.9%
- 〇利用していない理由
 - ・利用する必要がない 35.7%
 - ・利用可能時間が合わない 22.5%
- ○38.9%(前回:26.6%)が利用を希望しています。

地域の子育て支援拠点事業とは

子ども支援センターすてっぷ21や地域子育て支援センター(市立保育園内)で、 乳幼児とその保護者などの親子交流を図るとともに、子育ての相談や情報提供 等を実施するほか、子育てを地域で支える取組です。

④ 放課後に過ごさせたい場所(複数回答)

場所	低学年	高学年	
自宅	71.7%(前回:67.9%)	79.2%(前回:68.1%)	
習い事	54.2%(前回:60.8%)	72.3%(前回:69.7%)	
その他 (図書館,公園など)	38.0%(前回:38.9%)	38.9%(前回:38.3%)	
学童保育所	34.8%(前回:27.5%)	15.8%(前回:12.7%)	
放課後子ども教室	26.4% (前回:20.7%)	18.2%(前回:18.4%)	

⑤ 育児休業

区分	前回	R5
母親	37.1%	53.2%
父親	4.8%	21.5%

母親・父親双方で、「育児休業を取得した(取得中である)」の割合が増加しています。

4 集計結果の主な概要

⑥ 子育てに関する情報の入手先(複数選択)

入手先	就学前	就学
学校,保育園,幼稚園,認定こども園	43.9%	54.5%
隣近所の人,知人,友人	40.8%	45.4%
市の広報やパンフレット	32.3%	34.6%
八千代市子育て支援サイト	15.8%	9.4%

7 子育て支援でもっと力を入れてほしいもの(複数選択)

区分	就学前	就学
育児疲れや子の看護疲れのときに対応 してくれるサポート	42.3%	29.4%
保護者の通院や入院,親の介護のとき に対応してくれるサポート	35.4%	34.8%